

1. ソマリア沖海賊対策共同訓練



2月20日、呉港沖（広島）で、海上保安庁と海上自衛隊によりソマリア沖・アデン湾における海賊対策として海上警備行動が発令された場合に備えた共同訓練を実施しました。訓練では、護衛艦「たかなみ」に海上保安官が同乗し、自衛隊員により拘束した海賊を海上保安官が逮捕するという実際の現場を想定した訓練を実施しました。

2. 日本最大規模の浮体式灯標の設置



全長約51mの巨大灯標を設置する大型クレーン

2月15日、日本最大規模の浮体式灯標である「東京湾中ノ瀬西方第一号灯標」（全長約51m）の設置作業が行われました。この浮体式灯標は、浮体と重りをチェーンで繋ぐ従来の方式から、パイプと最小の連結具を用いて繋ぐ方式に変更したもので、潮流による振れ回りが大幅に軽減されるため、船舶運航者は航路幅を広く活用できるだけでなく、航路をより直線的に表示できることから、航路がより明確に確認できるようになります。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
03-3591-6361（代表）

（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

